

健全育成シリーズ(11)



児童虐待が増えています  
「いつまで泣いてるの！」  
「何度、同じ事言わせるの！」  
「わからないことはかり言って  
るんじゃないの！」

ついカツとなつてしまつて、  
その時の自分の感情を抑え切れ  
ずに我が子に手を上げてしま  
う。酷い時には、そのつもりは  
無くとも、命まで奪つてしまふ。  
お母さん方(と限定してはい  
けませんが)は愛する我が子の  
はずなのに、子育てのつらく  
厳しい面に心を囚われてしま  
い、後でハツと我に帰つたと  
きに、自分の愚行を悔やんで  
しまうのです。そうなる前に、  
何とかすることとはできなかつ  
たのでしようか。

私は我が子が生まれてくる前、立派な父親になろう、素晴らしい子どもに育てよう、どうしたらいいかあれやこれや思いをめぐらしていました。しかし、いざ我が子が生まれてくると、自分が考へている通りには行かないことがわかり、悩みました。そんな時、私は両親から、「あなたもそうだつ

夫も子育ての担い手

子育ては女性の仕事と考える方はとても多いでしょう。

子どもの面倒を見ているという家庭が、圧倒的に多いと思います。子育てで思い悩むお母さんが夫に相談しようと思つても、「俺も外で仕事をしてきて大変なんだよ。勘弁してくれよ」と突つ返されてしまう。何と言つても真つ先に聞いて欲しい人に、そんなことを言われてしまつては、お母さんの悩みは増すばかりでしょう。子育てとは夫婦の仕事なのです。妻の仕事、夫の仕事ではありません。二人で育てていくことなのです。

きのこ食中毒予防

# 大月保健所

- 最近のアウトドア・レジャーの中でも人気の高いものに「きのこ狩り」があります。
  - しかし、きのこのについての正しい知識がなかつたために楽しい「きのこ狩り」が毒きのこによる食中毒という不幸な結果になつてしまふことが毎年起きています。
  - 毒きのこで食中毒を起さないよう、次のことに注意しましょう。
  - 確実に鑑定された食用きのこ以外は絶対に食べない
  - きのこ狩りでは、有毒きのこが混入しないように注意する
  - 様々な「言い伝え」は迷信であり、信じない
  - 図鑑の写真や絵にあてはめ勝手に鑑定しない
  - 食用のきのこでも生の状態で食べたり、一度に大量につたけなどの高価なものでも傷んだものは食べない

九月二十四日(日)に、山梨県動物指導センターで動物愛護デーを開催します。

(1) その動物の本能や習性を良く理解しましょう  
(2) 正しい飼い方やマナーを守りましょう。糞の始末などはきちんと行いましょう

どんな小さい動物も私たちと同じ命を持つっています。特にペットを飼っている皆さんは、その動物を生涯面倒みる義務と責任があります。犬や猫で繁殖を望まない場合は避妊手術などの方法もあります。

ペットの飼い主は、動物が社会の中で安心して暮らせるように心がけましょう。

動物愛護週間



**健全育成シリーズ(111) 親の心の健康**

**児童虐待が増えています**

「いつまで泣いてるの!」、「何度も同じ事言わせるの!」、「わからないことばかり言つてるんじゃないの!」。

ついカッとなつてしまつて、その時の自分の感情を抑え切れず、に私が手を上げてしまつ。酷い時には、そのつもりは無くとも、命まで奪つてしまつ。お母さん方(と限定してはいけませんが)は愛する我が子のはずなのに、子育てのつらく厳しい面に心を囚われてしまつ。後でハッと我に帰つたときには、自分の愚行を悔やんでもしまうのです。そうなる前に、何とかすることはできなかつたのでしょうか。

**気楽に構えて**

私は我が子が生まれてくる前、立派な父親になろう、素晴らしい子どもに育てようと、どうしたらしいかあれやこれや思いをめぐらしていました。しかし、いざ我が子が生まれると、自分が考へている通りには行かないことがわかり、悩みました。そんな時、私は両親から、「あなたもそうだつ

たまには子育てから離れてみる共働きをしている家庭のほうが、子育てを楽しく行えていると言います。それは、仕事を行つている間子どもと離れるので、帰つてから十分子どもと触れ合おうという気持ちが働くからのようですが、専業主婦の方も同じです。たまたまと思つたら、子育てから離れてみましよう。子どもを預けられるところがあれば、そこへ預けてお友達と出かけてみることもいいでしょ。これは手抜き子育てではあります。先ほども述べましたが、親が心のゆとりを作り出すことが、子育てに良い影響を生み出すのです。

**夫も子育ての担い手**

子育ては女性の仕事と考える方はとても多いでしょう。事実、夫が外で働いて、妻が大人の思う通りには成長していくかないものであります。考えてみてください。自分の言う通りに育つていく我が子を見て樂しい時もあるから子育ては味があるのです。気楽に構えます。親の心のゆとりが子どもたちの成長にも大切なのです。

子どもの面倒を見ているという家庭が、圧倒的に多いと思います。子育てで思い悩むお母さんが夫に相談しようと思つても、「俺も外で仕事をしてきて大変なんだよ。勘弁してくれよ」と突つ返されてしまう。何と言つても真つ先に聞いて欲しい人に、そんなことを言われてしまつては、お母さんの悩みは増すばかりでしょう。子育てとは夫婦の仕事なのです。妻の仕事、夫の仕事ではありません。二人で育てていくことなのです。

昨年十一月に東京文京区で発生した若山春奈ちゃん殺害事件の公判で山田みつ子容疑者の夫がとても印象的な発言をしました。「私は妻の言葉を聞いて、気持ちを聞いてあげなかつた」。あの事件では、ひょっとすると、夫がもつと妻の話に真剣に耳を傾けてあげていたら、妻はそんな凶行には及ばなかつたかもしれません。それほどまでに子育てにおいて夫の存在は大きいのです。お互い疲れていても、妻にご苦労さんと、やさしい一言を掛けあげていますか。それだけです。子育てに悩む妻の気持ちが少しは安らぐものです。子育ては妻の仕事ではありません。夫婦で協力し合つてするものなのです。

我が子は夫婦の愛の結晶。あなたのお子さんが生まれてきたときの気持ちを、思い出して見ましよう。初心に帰るのです。

そして、我が子に愛する気持ちを伝えましょう。それが子育てではないでしょうか。